

高校世界史プリント（過去問類似）

近世（結びつく世界） No.1

名前

得点

/11

問1 15世紀半ばのドイツにおいて、改良された金属活字を用いた活版印刷術を実用化し、のちの宗教改革における聖書の普及やルネサンスの思想伝達に決定的な影響を与えた人物は誰か。（2020年 全国公立入試 類似）

1. パラケルスス 2. ヴェサリウス 3. グーテンベルク 4. コペルニクス

問2 17世紀後半、財務長官コルベールの指導のもとで東インド会社を再組織し、アジア進出を本格化させた国が、インドにおける貿易拠点として獲得した、シャンドルナゴルと並ぶ代表的な都市はどこか。（2011年 全国公立入試 類似）

1. ゼーランドシア 2. ポンディシェリ 3. ナーガパトナム 4. トランケパール

問3 15世紀半ば以降、オーストリアを本拠地とするハプスブルク家とその帝位をほぼ世襲的に独占するようになった、中世から近代にかけてドイツを中心に存在した帝国は何か。（2014年 全国公立入試 類似）

1. プロイセン王国 2. ポルトガル王国 3. 神聖ローマ帝国 4. エルサレム王国

問4 前漢の武帝は、匈奴への遠征などによる財政難を解決するため、桑弘羊らの建策を採用して国家による経済統制を実施した。このとき、鉄や酒とともに国家が専売とした、生活に不可欠な鉱物資源は何か。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 酒 2. 茶 3. 鉄 4. 塩

問5 清朝において、直轄地や中国本土（内地）とは異なる、モンゴル・青海・チベット・新疆などのいわゆる「藩部」を管理・統治するために設置され、のちにロシアとの外交事務なども管轄した中央官庁は何か。（2012年 全国公立入試 類似）

1. 都察院 2. 翰林院 3. 理藩院 4. 軍機処

問6 15世紀末以降、ヨーロッパ人が大西洋を渡ってアメリカ大陸に進出した際、彼らが持ち込んだ病原体は先住民に壊滅的な打撃を与えた。このうち、先住民が免疫を持たなかったため大流行し、人口激減の主要因となった、高熱と発疹を伴う代表的な伝染病は何か。（2018年 全国公立入試 類似）

1. 黒死病 2. 天然痘 3. 破傷風 4. 黄熱病

問7 明の洪武帝が、民衆統治と財政基盤の安定のために整備した、110戸を単位として徴税や治安維持の責任を共同で負わせた村落行政制度を何というか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 保甲制 2. 三長制 3. 郡県制 4. 里甲制

問8 13世紀初頭に奴隷出身の将軍によって創始され、1526年に滅亡するまで、デリーを首都として北インドを支配した5つのイスラム王朝の総称を何というか。（2015年 全国公立入試 類似）

1. トゥグルク朝 2. バフマニー朝 3. サイド朝 4. デリー＝スルタン朝

問9 近世から近代にかけてのプロイセンにおいて、エルベ川以東の地域を中心にグーツヘルシャフトと呼ばれる大土地所有経営を行い、農民を厳しく支配した地主貴族を何というか。彼らは国家の官僚や軍隊の要職を独占し、ドイツの近代化過程においても保守的な政治勢力として強い影響力を保持続けた。（2019年 全国公立入試 類似）

1. ユンカー 2. ノビレス 3. ボヤール 4. パトリキ

問10 15世紀から16世紀にかけて南米のアンデス山脈沿いに広大な領域を支配し、文字を持たない代わりにキープ（結縄）を用いて情報を記録・伝達した、クスコを首都とする帝国は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. インカ帝国 2. アステカ帝国 3. チムー帝国 4. トルテカ帝国

問11 16世紀後半、カトリックの擁護者として、領土であったネーデルラントにおけるカルヴァン派などの新教徒を厳しく弾圧し、のちのオランダ独立戦争を招く契機をつくったスペイン国王は誰か。（2020年 全国公立入試 類似）

1. カール5世 2. シャルル9世 3. フェリペ2世 4. ヘンリ8世

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 3 グーテンベルク	15世紀半ばにマインツ出身の人物が開発した活版印刷術は、書籍の大量生産を可能にし、知識や情報の伝達速度を劇的に向上させた。これにより、ルネサンスの思想やルターの宗教改革における聖書の翻訳本がヨーロッパ各地に急速に普及することとなった。
問2	答え 2 ボンディシエリ	フランスは17世紀後半の1674年にインド東海岸のボンディシエリを獲得し、シャンデルナゴルとともにインド貿易の拠点とした。これは、16世紀初頭のポルトガルによるゴア占領や、17世紀初頭のオランダによるバタヴィア建設よりも後のできごとである。
問3	答え 3 神聖ローマ帝国	15世紀半ば以降、ハプスブルク家が皇帝位をほぼ独占するようになったのは神聖ローマ帝国である。この帝国は、1356年の金印勅書によって七選帝侯による選挙制が定められていたが、15世紀以降はハプスブルク家からの選出が常態化し、事実上の世襲となった。
問4	答え 4 塩	前漢の武帝期には、積極的な対外遠征によって国家財政が窮乏した。これを再建するため、桑弘羊らの主導により、生活必需品である塩・鉄・酒の専売制が実施された。これにより国家は莫大な専売利益を得て財政を潤したが、民間からは強い反発も招いた。
問5	答え 3 理藩院	清朝は、満洲や中国本土以外の周辺地域を「藩部」として間接統治した。これらの藩部を統轄するために設置されたのがこの官庁であり、理藩院と呼ばれる。のちにキャフタ条約などでロシアとの交渉窓口にもなった。
問6	答え 2 天然痘	ヨーロッパ人のアメリカ大陸到達に伴い、それまで隔離されていた南北アメリカ大陸に旧大陸の病原体が持ち込まれた。特にこの感染症は強い感染力を持ち、免疫を持たない先住民の間で猛威を振るった。これにより、鉱山や大農場での過酷な労働と相まって、先住民人口は激減することとなった。ペストやコレラなども歴史上重要な感染症であるが、この時期のアメリカ大陸で最も致命的な影響を与えたのはこの病である。
問7	答え 4 里甲制	明の洪武帝は、元末の混乱で荒廃した農村を再建し、財政基盤を確立するため、110戸を1里とし、そのうち富裕な10戸を里長戸、残りの100戸を甲首戸として、徴税や治安維持を共同で担当させる里甲制を導入した。これにより、国家が直接農民を把握する体制が整えられた。
問8	答え 4 デリー=スルタン朝	1206年にクトゥブッディーン・アイバクが奴隷王朝を建ててから、1526年にロディー朝が滅亡するまで、デリーを首都とした5つのイスラーム王朝（奴隷朝、ハルジー朝、トゥグルク朝、サイイド朝、ロディー朝）が興亡した。これらを総称してデリー=スルタン朝と呼ぶ。
問9	答え 1 ユンカー	エルベ川以東のプロイセンでは、16世紀以降、地主貴族が農民の移動の自由を奪って農奴として使役し、輸出用の穀物を生産するグーツヘルシャフト（領主裁判権を伴う大土地所有制度）が発達した。この地主貴族は官僚や軍隊の将校などの要職を独占し、プロイセンおよび統一後のドイツ帝国において支配層として政治・社会に強い影響力を持ち続けた。ビスマルクもこの階層の出身である。
問10	答え 1 インカ帝国	15世紀から16世紀にかけて、南米のアンデス地域を中心に栄えた帝国である。首都クスコから伸びる道路網（インカの道）を整備し、キープ（結縄）と呼ばれる紐の結び目で情報を記録・伝達した。16世紀前半にスペイン人のピサロによって滅ぼされた。
問11	答え 3 フェリペ2世	ハプスブルク家のスペイン国王は、熱烈なカトリックの立場から、領土であるネーデルラントのカルヴァン派（プロテスタント）を厳しく弾圧した。この政策に対する現地の人々の反発が、オランダ独立戦争へと発展した。

高校世界史プリント（過去問類似）

近世（結びつく世界） No.2

名前

得点

/10

問1 17世紀初頭、アジアにおける香料貿易の独占を狙うオランダは、ジャワ島西部に東インド会社の本部を置き、東南アジアにおける植民地支配の拠点となる都市を建設した。現在のインドネシアの首都ジャカルタの旧称にあたる、この都市はどこか。

（2022年 全国公立入試 類似）

1. マカッサル 2. バタヴィア 3. アンボイナ 4. パレンバン

問2 17世紀前半にドイツを中心に勃発した宗教戦争において、カトリック側の神聖ローマ皇帝に雇われ、私兵を率いてプロテスタント側の勢力と戦った、ボヘミア出身の傭兵隊長は誰か。

（2015年 全国公立入試 類似）

1. ティリー 2. トルステンソン 3. ヴァレンシュタイン 4. マンスフェルト

問3 16世紀以降、カリブ海地域や南米のスペイン植民地では、過酷な労働や感染症によって先住民の人口が激減した。このため、代替の労働力としてアフリカから大量に連行され、プランテーションや鉱山で酷使された人々を何というか。

（2008年 全国公立入試 類似）

1. 契約移民 2. 債務奴隷 3. 黒人奴隷 4. 年季奉公

問4 17世紀初頭、明の東北地方において女真（満洲）の諸部族を統一し、のちに清へと発展する国家を建国した人物は誰か。

（2025年 全国公立入試 類似）

（2025年 全国公立入試 類似）

1. ヌルハチ 2. アグダ 3. ドルゴン 4. ホンタイジ

問5 16世紀の東南アジアにおいて、パガン朝の滅亡後に生じた分裂状態を解消してビルマ（ミャンマー）を再統一し、隣国のタイに存在したアユタヤ王国と激しい抗争を展開した王朝は何か。

（2004年 全国公立入試 類似）

1. トウングー朝 2. コンバウン朝 3. ランサーン朝 4. スコータイ朝

問6 15世紀末から16世紀にかけて、ポルトガルはアジアへの香辛料ルートを確保するため、アフリカ南端を經由する航路の開拓を進めた。ヴァスコ・ダ・ガマの成功に続き、インドへ派遣された船団の司令官でありながら、航行中に大西洋を大きく西へと迂回した結果、1500年に南米大陸の東部に漂着し、そこを自国の領有と宣言して後の植民地支配の端緒を開いた航海者は誰か。

（2007年 全国公立入試 類似）

1. カボット 2. ディアス 3. カブラル 4. マゼラン

問7 16世紀末から17世紀初頭にかけて、都をイスファハーンに移して「イスファハーンは世界の半分」と称されるほどの繁栄をもたらし、イギリスと結んでポルトガルからホルムズ島を奪回するなど、サファヴィー朝の全盛期を築いた君主は誰か。

（2025年 全国公立入試 類似）

（2025年 全国公立入試 類似）

1. ムスタファ1世 2. アッパース2世 3. アッパース1世 4. スレイマン1世

問8 17世紀のイギリスにおいて、ジェントリ出身の指導者が率いる独立派が、王党派を破って国王を処刑し、一時的に君主政を廃止して共和政を樹立する契機となった一連の市民革命を何というか。

（2004年 全国公立入試 類似）

1. ベルギー革命 2. ギリシア革命 3. フランス革命 4. ピューリタン革命

問9 18世紀半ば、オーストリアのハプスブルク家はプロイセンから領土を奪回するため、長年敵対関係にあったブルボン家のフランスと同盟を結んだ。この国際関係の劇的な転換を何と呼ぶか。

（2013年 全国公立入試 類似）

1. 三国同盟 2. 外交革命 3. 神聖同盟 4. 三帝同盟

問10 17世紀後半から18世紀初頭にかけてのムガル帝国において、それまでの宗教的融和策を改めて厳格なスンナ派のイスラーム化政策を推進し、非ムスリムへのジズヤ（人頭税）を復活させたことで、シク教徒やマラーターなどの反乱を招き、帝国の衰退の契機を作った第6代皇帝は誰か。

（2016年 全国公立入試 類似）

1. ジャハーンギール 2. シャー・ジャハーン 3. バハードウル・シャー 4. アウラングゼーブ

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 2 バタヴィア	オランダは17世紀初頭に東インド会社を設立し、アジア貿易への本格的な進出を開始した。1619年、ジャワ島西部のジャカトラを占領してバタヴィアと改称し、ここに東インド会社の本部を建設した。バタヴィアは、香料貿易の独占や、イギリスなどの競合勢力を排除するための軍事・商業的拠点として機能し、のちのオランダ領東インドの首都となった。第二次世界大戦後にインドネシアが独立を宣言すると、名称はジャカルタに戻された。
問2	答え 3 ヴァレンシュタイン	三十年戦争において、神聖ローマ皇帝フェルディナント2世に雇われたヴァレンシュタインは、自費で集めた傭兵団を率いてプロテスタント軍を圧倒した。しかし、その強大な軍事力と野心を皇帝や諸侯に警戒され、後に暗殺された。
問3	答え 3 黒人奴隷	スペイン領アメリカ植民地では、ポトシ銀山などの鉱山開発やサトウキビなどのプランテーション経営が行われたが、過酷な労働やヨーロッパから持ち込まれた感染症により、先住民（インディオ）の人口が激減した。この深刻な労働力不足を補うため、アフリカから大西洋奴隷貿易を通じて多くの人々が強制連行され、過酷な労働に従事させられた。なお、オランダがジャワ島で導入した強制栽培制度や、イギリスがインドで実施したザミンダール制などは、異なる時代・地域の労働・徴税制度である。
問4	答え 1 ヌルハチ	17世紀初頭の1616年、女真（満洲）の指導者であるヌルハチは諸部族を統一して後金を建国した。彼は八旗と呼ばれる軍事・行政制度を創始し、満洲文字を制定するなどして、のちの清朝の基礎を築いた。
問5	答え 1 トウングー朝	16世紀前半にビルマ（ミャンマー）中部のタウングー地方から興ったこの王朝は、周辺勢力を破ってビルマを統一した。その後、隣国タイのアユタヤ王国へ遠征を行い、一時その首都を占領するなど、東南アジア大陸部において強大な勢力を誇った。18世紀にモン人の反乱などによって滅亡した。
問6	答え 3 カブラル	1500年、ポルトガル王の命を受けてインドへと向かったカブラルは、アフリカ西岸の風や海流を避けるために大西洋を大きく西寄りに航行した。その結果、南米大陸の東端（現在のブラジル）に漂着し、1494年に締結されたトルデシヤス条約の境界線に基づき、この地をポルトガル領と宣言した。これにより、ポルトガルによるブラジル植民地化の歴史が始まることとなった。
問7	答え 3 アッパース1世	サファヴィー朝の第5代シャーであるこの君主は、軍制改革を行って常備軍を整備し、オスマン帝国から領土を奪還した。また、都をイスファハーンに遷都して壮麗な都市を建設し、外交や交易を活発化させて王朝の全盛期を現出した。
問8	答え 4 ピューリタン革命	チャールズ1世の専制政治に対して議会派が反発し、内戦へと発展した。ジェントリ出身の指導者が率いる鉄騎隊の活躍などにより議会派が勝利し、国王の処刑と共和政の樹立に至った。この一連の変革は、清教徒（ピューリタン）が中心的な役割を果たしたことからこの名で呼ばれる。
問9	答え 2 外交革命	オーストリア継承戦争でプロイセンに領土を奪われたマリア＝テレジアは、その奪回を目指し、宿敵であったフランス（ブルボン家）と同盟を結んだ。これを外交革命と呼ぶ。これにより、従来の「ハプスブルク家対ブルボン家」というヨーロッパの対立構図が崩壊し、イギリス・プロイセン対フランス・オーストリアという新たな対立構図が生まれた。
問10	答え 4 アウラングゼーブ	アウラングゼーブは、アクバル以来の融和政策を破棄して厳格なイスラーム化政策を行い、1679年にジズヤを復活させた。これにより、ヒन्दゥー教徒のマラーターや、バンジャール地方のシク教徒などの激しい反乱を招き、帝国の財政悪化と衰退をもたらした。

高校世界史プリント（過去問類似）

近世（結びつく世界） No.3

名前

得点

/10

問1 オスマン帝国の軍事制度に関する以下の説明において、空欄 [] に入る語句として最も適当なものを答えよ。オスマン帝国は領土を拡大する過程で、バルカン半島などのキリスト教徒の少年を徴集してイスラーム教に改宗させ、忠実な兵士や官僚として育成する制度を整えた。この制度によって編成され、スルタンに直属して銃器などの新兵器を用いた歩兵の常備軍は [] と呼ばれ、帝国の主力軍として活躍した。（2011年 全国公立入試 類似）

1. アキンジ 2. シパーヒー 3. イェニチェリ 4. カプクル

問2 前近代の国家における軍事制度について述べた文章の空欄 [ア] に入る語句として最も適当なものを答えよ。オスマン帝国では、領内のキリスト教徒の少年を徴集してイスラームに改宗させ、スルタン直属の軍人や官僚として育成するデヴシルメと呼ばれる制度がとられた。この制度によって組織された [ア] は、鉄砲などの新兵器をいち早く導入した強力な常備歩兵軍団であり、帝国の領土拡大に大きく貢献した。（2009年 全国公立入試 類似）

1. カザルバシュ 2. マムルーク 3. スィパーヒー 4. イェニチェリ

問3 歴史上の古典を再評価し、そこから新たな人間観や世界観を導き出そうとする動きは、ヨーロッパの文化史において大きな転換点となった。14世紀以降のイタリアを中心に、中世的な神中心の価値観から脱却し、人間性の解放や個性の尊重を目指して、ギリシア・ローマの古典文化を研究・吸収しようとした思想的潮流を何というか。（2014年 全国公立入試 類似）

1. 合理主義 2. 人文主義 3. 個人主義 4. 世俗主義

問4 16世紀前半、銃や馬などの軍事力と帝国内部の王位継承争いを利用して、南米アンデス地方の先住民国家を征服し、その後の植民地支配の拠点として太平洋沿岸にリマを建設したスペインの征服者は誰か。（2017年 全国公立入試 類似）

1. コルテス 2. ピサロ 3. バルボア 4. アルマグロ

問5 大航海時代以降、カトリックの勢力挽回を目指して創設され、アジアやラテンアメリカへの積極的な布教活動を展開した修道会は何か。明代後半の中国において、マテオ＝リッチなどの宣教師を派遣し、ヨーロッパの科学技術や世界地図を伝えたことで知られる。（2007年 全国公立入試 類似）

1. カルメル会 2. サレジオ会 3. イエズス会 4. ドミニコ会

問6 16世紀初頭、カイロを首都とし、シリアやエジプトを支配していたが、オスマン帝国のセリム1世による軍事遠征によって1517年に滅ぼされたイスラーム王朝は何か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. マムルーク朝 2. サファヴィー朝 3. アイユーブ朝 4. セルジューク朝

問7 17世紀前半、重税や飢饉に苦しむ農民たちの不満を背景に、陝西地方から拡大した大規模な反乱軍が北京を占領し、崇禎帝を自殺に追い込んで明を滅亡させた。この反乱の名称として最も適当なものを答えよ。（2022年 全国公立入試 類似）

1. 張献忠の乱 2. 李自成の乱 3. 黄巢の乱 4. 黄巾の乱

問8 16世紀前半、アペニン半島の支配権をめぐるハプスブルク家と激しく対立し、1519年の神聖ローマ皇帝選挙においても、スペイン王カルロス1世（のちの皇帝カール5世）の対立候補として立候補したフランス国王は誰か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. フランソワ1世 2. スレイマン1世 3. エリザベス1世 4. フランソワ2世

問9 中世から近世にかけて、ダウ船などの帆船を用いたムスリム商人らによるインド洋交易の拠点として繁栄し、1498年にはポルトガルの航海者ヴァスコ・ダ・ガマが到達した、インド西海岸に位置する港市はどこか。（2006年 全国公立入試 類似）

1. パレンバン 2. バタヴィア 3. カリカット 4. マスカット

問10 ネーデルラント出身の人文主義者が著し、愚神に擬人化した語り手を通じて、当時の聖職者の腐敗や教会の形骸化した儀礼を痛烈に風刺・批判した著作は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 天文対話 2. 愚神礼賛 3. 叙情詩集 4. 十日物語

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 3 イエニチェリ	オスマン帝国では、キリスト教徒の少年を徴集して改宗・教育するデヴシルメ制度が実施された。この制度を通じて育成されたスルタン（君主）直属の歩兵常備軍がイエニチェリである。彼らは火砲や銃器などの新兵器をいち早く導入し、帝国の領土拡大において重要な役割を果たした。しかし、時代が下ると既得権益化し、政治的混乱の要因となったため、19世紀前半にマフムト2世によって解体された。
問2	答え 4 イエニチェリ	オスマン帝国において、デヴシルメ制度によって徴集・改宗されたキリスト教徒の少年たちから編成されたスルタン直属の常備歩兵軍団はイエニチェリと呼ばれる。彼らは銃器などの新兵器を駆使して、ビザンツ帝国の滅亡や領土拡大に大きく貢献した。エジプトなどで活躍した奴隷軍人であるマムルークや、清のヌルハチが創設した八旗など、他の軍事組織との違いを区別することが重要である。
問3	答え 2 人文主義	ルネサンス期に興った人文主義（ヒューマニズム）は、中世のキリスト教的な神中心主義に対し、人間らしい生き方や個性を肯定する思想である。この運動において、キリスト教以前のギリシア・ローマの古典古代の文化が模範とされ、古典文献の研究や人間中心の芸術表現が盛んに行われた。
問4	答え 2 ピサロ	フランシスコ・ピサロは、1530年代にインカ帝国の皇帝アタワルパを捕らえて処刑し、同帝国を征服した。その後、高地にある首都クスコに代わる新たな支配拠点として、沿岸部にリマを建設した。アステカ帝国を征服したエルナン・コルテスとの対比が重要である。
問5	答え 3 イエズス会	宗教改革に対抗してカトリック側の自己改革と勢力挽回を目指し、イグナティウス＝ロヨラによって創設された。この修道会は、海外布教に力を注ぎ、中国（明・清）や日本などのアジア地域、およびラテンアメリカへ多くの宣教師を派遣した。明代の中国では、マテオ＝リッチらがキリスト教の布教とともに、西欧の天文学や地理学などの学術を紹介した。
問6	答え 1 マムルーク朝	13世紀半ばにエジプトで成立したマムルーク朝は、十字軍やモンゴル帝国の侵入を退け、カイロを首都として繁栄した。しかし、1517年にオスマン帝国のセリム1世によって滅ぼされ、その領土はオスマン帝国に編入された。これによりオスマン帝国は東地中海から北アフリカに至る広大な領域を支配下に置くこととなった。
問7	答え 2 李自成の乱	明末の17世紀前半、増税や飢饉によって社会不安が高まる中、陝西地方で起きた農民反乱が急速に拡大した。この反乱を率いた指導者は北京を占領し、崇禎帝を自殺に追い込んで明を滅亡させたが、その後、山海関を越えて侵入した清軍によって滅ぼされた。
問8	答え 1 フランソワ1世	16世紀前半のヨーロッパでは、主権国家の形成を背景に、フランス王家とハプスブルク家の対立が激化した。フランス国王フランソワ1世は、イタリアの支配権をめぐるイタリア戦争でハプスブルク家と対立したほか、1519年の神聖ローマ皇帝選挙にも立候補してスペイン王カルロス1世（カール5世）と帝位を争ったが、敗れた。
問9	答え 3 カリカット	1498年、ポルトガルのヴァスコ・ダ・ガマはアフリカ南端の喜望峰を経由してインド西海岸のカリカットに到達した。カリカットは古くからダウ船などの帆船を用いたムスリム商人らによるインド洋交易の拠点として栄えており、香辛料貿易の中心地であった。この航路の開拓により、ヨーロッパとアジアの直接交易が本格化することとなった。
問10	答え 2 愚神礼賛	『愚神礼賛』は、1511年に刊行されたエラスムスの代表作である。ギリシア神話の愚神に自らを語らせる形式をとり、当時の社会階層、特にローマ・カトリック教会の教皇や枢機卿、修道士たちの偽善や腐敗をユーモアと皮肉を交えて批判した。この著作はヨーロッパ中で広く読まれ、宗教改革の精神的土壌を耕すこととなった。

高校世界史プリント（過去問類似）

近世（結びつく世界） No.4

名前

得点

/10

問1 明の永楽帝によって遷都され、北方のモンゴルなどの敵対勢力に近接する軍事上の要地としての役割を持ち、のちに中国東北部から興った王朝によっても都とされた都市はどこか。（2022年 全国公立入試 類似）

1. 開封 2. 北京 3. 洛陽 4. 長安

問2 清の乾隆帝の命によって編纂された、中国古今の膨大な書籍を「経・史・子・集」の4部門に分類して収録した一大叢書は何か。この編纂事業の過程では、学術の振興が図られる一方で、反清的思想を含む書籍の検閲や禁書処分も徹底して行われた。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 永楽大典 2. 太平御覧 3. 四庫全書 4. 四書大全

問3 16世紀後半のロシア（モスクワ大公国）において、正式に「ツァーリ」の称号を用いて専制政治を推進し、コサックの首長イェルマークらの遠征によってシベリア進出を開始した君主は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. イヴァン4世 2. ニコライ2世 3. ニコライ1世 4. イヴァン3世

問4 15世紀末にスペインの支援を受け、大西洋を西へ航海してカリブ海の島に到達した。この航海はヨーロッパによるアメリカ大陸への進出の契機となったが、本人はそこをアジアの一部であると信じていたとされる、ジェノヴァ出身の航海者は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. カルティエ 2. エルカーノ 3. コロンブス 4. ヴェスプッチ

問5 18世紀後半、東欧の王国において王位継承問題や国内の混乱が続くなか、隣接するロシア、プロイセン、オーストリアの3国が介入し、3回にわたってその領土を分け合った。これにより、1795年にこの王国は完全に消滅し、第一次世界大戦後まで独立を失うこととなった。この歴史的出来事を何というか。（2023年 全国公立入試 類似）

1. ティルジット条約 2. ユトレヒト条約 3. ニスタット条約 4. ポーランド分割

問6 18世紀末にラーマ1世によって創設され、バンコクを首都とした。19世紀後半以降、欧米列強の圧力を受ける中で対外貿易を拡大させ、近代化改革を進めることで東南アジアにおいて唯一独立を維持したタイの王朝は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. スコータイ朝 2. アユタヤ朝 3. マタラム朝 4. チャクリ朝

問7 16世紀後半のレパントの海戦に加わって負傷した経歴を持ち、17世紀初頭のスペインにおいて、没落していく騎士階級や時代遅れの騎士道精神をユーモラスに風刺した長編小説『ドン=キホーテ』を著した作家は誰か。（2012年 全国公立入試 類似）

1. セルバンテス 2. アリオースト 3. チョーサー 4. モンテーニュ

問8 豊臣秀吉による軍事侵攻によって日朝関係は一時断絶したが、その後に成立した江戸幕府によって国交が回復された。17世紀から19世紀初めにかけて、将軍の代替わりなどの慶事を祝うために、朝鮮から日本へ派遣された公式の外交使節を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 朝鮮通信使 2. 琉球慶賀使 3. 日本国王使 4. 琉球謝恩使

問9 16世紀以降、ヨーロッパ諸国によるアメリカ大陸の植民地化が進むなかで、銀山での過酷な労働やヨーロッパから持ち込まれた感染症により、現地に居住していた先住民の人口が激減した。この深刻な労働力不足を補うため、サトウキビやタバコなどのプランテーションや鉱山で働かせる目的で、大西洋を渡って強制的に連行・輸送された人々を何と呼ぶか。（2016年 全国公立入試 類似）

1. 黒人奴隷 2. 混血住民 3. 契約移民 4. 先住民

問10 15世紀前半の明において、積極的な対外進出を行い、北方の東北地方（アムール川流域）にまで支配を広げたほか、モンゴル高原への親征やベトナムへの侵攻、さらには南海遠征の派遣などを行った、明朝の第3代皇帝は誰か。（2020年 全国公立入試 類似）

1. 万曆帝 2. 永楽帝 3. 崇禎帝 4. 洪武帝

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 2 北京	明の第3代皇帝である永楽帝は、自身の基盤であった燕京（のちの北京）に遷都した。この都市は北方の遊牧勢力に対する防衛の最前線にあたる軍事上の要地であった。明の滅亡後、中国東北部（満洲）から興った女真（満洲）の王朝がこの都市を占領し、引き続き自らの都として位置づけた。
問2	答え 3 四庫全書	清の乾隆帝の時代に国家事業として編纂されたこの叢書は、書籍を経（儒学經典）、史（歴史書）、子（諸子百家・技術書）、集（文学）の四部分類する「四部分類」を採用した。この事業は文化の集大成であると同時に、清朝の支配に不都合な記述（反清思想など）を持つ書籍をあぶり出し、検閲・禁書処分にする思想統制の側面も持っていた。
問3	答え 1 イヴァン4世	16世紀後半にモスクワ大公国の君主として君臨した人物を問う問題。彼は正式に「ツァーリ」の称号を用いて専制政治を強化し、「雷帝」とも呼ばれた。彼の治世には、コサックの首長イェルマークがシベリアのシビル＝ハン国を討ち、ロシアのアジア方面への領土拡大の端緒が開かれた。なお、ビザンツ皇帝の姪と結婚してツァーリを自称し始めたのは15世紀後半のイヴァン3世であり、ステンカ・ラージンの乱が起きたのは17世紀後半のアレクセイの治世であるため、混同に注意したい。
問4	答え 3 コロンブス	1492年、スペイン女王イサベルの援助を得たコロンブスは、大西洋を西行してサンサルバドル島に到達した。彼は死ぬまでその地をインド（アジア）の一部と信じていたため、周辺の島々は西インド諸島、先住民はインディアン（インディオ）と呼ばれるようになった。
問5	答え 4 ポーランド分割	18世紀後半、選挙王制や貴族の対立により弱体化していたポーランドに対し、隣国のロシア、プロイセン、オーストリアが介入した。1772年、1793年、1795年の3回にわたり領土が分割され、第3回分割によってポーランドは国家として完全に消滅した。この出来事は、絶対主義国家による勢力均衡政策の典型例とされる。
問6	答え 4 チャクリ朝	1782年にラーマ1世が創設したチャクリ朝（ラタナコーシン朝）は、バンコクを首都に定めた。19世紀後半にはイギリスとのポウリング条約締結などを契機に対外貿易が急速に発展し、首都バンコクは国際貿易都市として拡大した。ラーマ5世らの近代化政策により、植民地化を免れて独立を維持した。
問7	答え 1 セルバンテス	『ドン＝キホーテ』の著者であるセルバンテスは、スペインの全盛期から衰退期にかけて活動した作家である。レパントの海戦で左手を負傷し、のちに海賊に捕らえられて奴隷生活を送るなど波乱の人生を歩んだ。彼の作品は、中世的な騎士道物語をパロディ化し、近代小説の先駆となった。
問8	答え 1 朝鮮通信使	豊臣秀吉による朝鮮侵略の後、徳川家康は対馬の宗氏を通じて朝鮮との国交回復交渉を進めた。その結果、国交が回復し、将軍の代替わりなどの機会に朝鮮から日本へ使節が派遣されるようになった。この使節は、両国間の平和の維持や文化交流において重要な役割を果たした。
問9	答え 1 黒人奴隷	16世紀以降、スペインなどのヨーロッパ諸国はアメリカ大陸を植民地化し、ポトシ銀山などの鉱山開発や、サトウキビなどのプランテーション農業を展開した。しかし、過酷な労働やヨーロッパから持ち込まれた天然痘などの感染症により、先住民（インディオ）の人口が激減した。このため、代替の労働力として西アフリカなどから大量の人々が強制的に連行され、大西洋三角貿易を通じてアメリカ大陸へと送り込まれた。
問10	答え 2 永楽帝	15世紀前半に即位した明の第3代皇帝である永楽帝は、積極的な対外策を展開した。北方のモンゴル（北元）への親征を重ね、東北地方のアムール川（黒竜江）流域にまで支配を広げて奴兒干都司を設置した。また、南方ではベトナム（大越）を一時的に直轄領とし、鄭和に命じて大規模な南海遠征を行わせるなど、明の最大領域を現出させた。

高校世界史プリント（過去問類似）

近世（結びつく世界） No.5

名前

得点

/10

問1 明代中期以降、長江下流域において綿織物業や絹織物業などの手工業が発達し、商品作物の栽培が本格化した。これに伴い、主食である米の主要な生産地域は長江中流域へと移行した。この長江中流域の農業的発展と、それによる全国的な食糧供給の様子を表した言葉として最も適当なものは何か。（2009年 全国公立入試 類似）

1. 蘇湖熟すれば天下足る 2. 蘇常熟すれば天下足る 3. 湖広熟すれば天下足る 4. 江浙熟すれば天下足る

問2 14世紀から15世紀にかけてイタリア＝ルネサンスの中心地として繁栄したトスカーナ地方の都市国家において、毛織物業や金融業で莫大な富を築き、芸術家や学者を保護して文化の黄金期を支えた一族は何か。（2012年 全国公立入試 類似）

1. フッガー家 2. ブルボン家 3. メディチ家 4. ロマノフ家

問3 大航海時代以降にユーラシア大陸へ伝来したトウモロコシやサツマイモなどの作物は、耕作に適さなかった山地や丘陵地での栽培を可能にし、食糧生産を飛躍的に向上させた。これらの作物の普及が、急激な人口増加を支える要因となった中国の王朝は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 宋 2. 清 3. 明 4. 元

問4 14世紀末に成立した朝鮮王朝（李朝）では、官僚登用のための厳格な国家試験制度が整備され、支配層の地位を維持・固定化する役割を果たした。江戸時代に日本を訪れた朝鮮の使節は、日本にこの制度が存在せず官職が世襲されていることを批判的に捉えたが、この国家試験制度を何というか。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 任子 2. 辟召 3. 科挙 4. 貢挙

問5 明や清の時代に、中国皇帝から冊封を受け、朝貢を行って中継貿易で繁栄したものの、17世紀初頭に日本の薩摩藩の侵攻を受けてその支配下にも入るといふ、日中両属の立場に置かれた国家は何か。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 琉球王国 2. 高麗王朝 3. 朝鮮王朝 4. 邪馬台国

問6 明代の中国では、長江下流域の蘇州などが綿織物業や製糸業などの商工業都市へと発展した。これに伴い、新たな穀倉地帯となった長江中流域の生産力の高まりを表現した言葉は何か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 蘇常熟すれば天下足る 2. 江浙熟すれば天下足る 3. 湖広熟すれば天下足る 4. 蘇湖熟すれば天下足る

問7 清朝の第4代皇帝は、三藩の乱を鎮圧したのち、1683年には台湾を拠点に抵抗を続けていた勢力を降伏させて中国統一を完成させた。ロシアとの間でネルチンスク条約を締結したことや、地丁銀制の端緒を開いたことでも知られるこの皇帝は誰か。（2007年 全国公立入試 類似）

1. 康熙帝 2. 順治帝 3. 雍正帝 4. 乾隆帝

問8 18世紀半ばにビルマ（ミャンマー）を統一し、1767年には隣国タイのアユタヤ朝を滅ぼしたが、19世紀にイギリスとの戦争に敗れてインド帝国に併合された王朝は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. トゥングー朝 2. スコータイ朝 3. コンバウン朝 4. ランサーン朝

問9 19世紀初頭のウィーン会議において、ナポレオン側に加担した国から割譲され、スウェーデンとの同君連合を形成することとされたものの、完全な独立は認められなかった北欧の国はどこか。（2009年 全国公立入試 類似）

1. スウェーデン 2. デンマーク 3. フィンランド 4. ノルウェー

問10 16世紀後半にインドを支配したムガル帝国の第3代皇帝は、多数派であるヒンドゥー教徒との融和を図るため、非ムスリムに課されていたある税を廃止した。この廃止された人頭税の名称を何というか。（2011年 全国公立入試 類似）

1. ハラージュ 2. ザカート 3. ジズヤ 4. ウシュル

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 3 湖広熟すれば天下足る	宋代には長江下流域が穀倉地帯として栄え「蘇湖（江浙）熟すれば天下足る」と言われた。しかし、明代中期以降、長江下流域で手工業や商品作物の栽培が盛んになると、穀物生産の中心は長江中流域（湖北・湖南）へと移り、「湖広熟すれば天下足る」と称されるようになった。
問2	答え 3 メディチ家	フィレンツェで金融業などにより台頭したメディチ家は、コジモやロレンツォらの時代に芸術家を厚く保護し、ルネサンス文化の開花に決定的な役割を果たした。のちに教皇やフランス王妃も輩出している。
問3	答え 2 清	大航海時代以降にアメリカ大陸から伝来したトウモロコシやサツマイモ、ジャガイモなどの作物は、それまで耕作に適さなかった山地や丘陵地での栽培を可能にした。これにより、清代の中国では食糧生産が飛躍的に向上し、18世紀以降の急激な人口増加を支える重要な要因となった。明代以前の王朝では、これらの作物の本格的な普及による大規模な人口増加はまだ見られない。
問4	答え 3 科挙	朝鮮王朝（李朝）では、高麗の制度を引き継いで科挙が厳格に実施され、官僚登用の主要なルートとなった。これにより儒教的教養を持つ両班が官職を独占した。江戸時代に朝鮮通信使として来日した知識人たちは、日本に科挙がなく、武士が世襲で行政を担っている状況を見て、有能な人材が登用されない非合理的な制度であると批判した。一方、日本の儒学者の中には、科挙の文才偏重を批判し、人柄を重視する立場から世襲制や周代の封建制を肯定的に評価する者もいた。
問5	答え 1 琉球王国	明や清の時代、中国皇帝と冊封関係を結んで朝貢貿易を行い、東南アジアや日本、中国を結ぶ中継貿易で繁栄した国家は琉球王国である。1609年に日本の薩摩藩（島津氏）による侵攻を受け、実質的にその支配下に入ったが、その後も中国（明・清）への朝貢を継続し、日中両属の体制を維持した。
問6	答え 3 湖広熟すれば天下足る	宋代には長江下流域の農業生産力の高さを表す「蘇湖（江浙）熟すれば天下足る」という言葉があったが、明代中期以降、同地域で手工業や商工業が発達して商品作物の栽培が盛んになると、穀物生産の中心は長江中流域へと移行した。この長江中流域（現在の湖北省・湖南省付近）を指す「湖広」の生産力を示す言葉として「湖広熟すれば天下足る」が使われるようになった。
問7	答え 1 康熙帝	清の第4代皇帝である康熙帝は、内乱である三藩の乱を鎮圧し、1683年には台湾の鄭氏一族を降伏させて中国統一を完成させました。対外的にはロシア（ロマノフ朝）のピョートル1世との間でネルチンスク条約を結んで国境を画定し、内政面では丁税（人頭税）を地税（土地税）の中に繰り込む地丁銀制の端緒を開くなど、清の全盛期の基礎を築きました。
問8	答え 3 コンバウン朝	18世紀半ばにアウンパヤーによって建国されたコンバウン朝（アウンパヤー朝）は、1767年にタイのアユタヤ朝を滅ぼすなど強盛を誇った。しかし、19世紀に入ると領土拡張をめぐるイギリスとの間で3回にわたるイギリス・ビルマ（ミャンマー）戦争が勃発し、最終的に1886年にイギリス領インド帝国に併合された。
問9	答え 4 ノルウェー	ウィーン会議（1814～1815年）において、ナポレオン側に立ったデンマークは敗戦国となり、領有していたノルウェーをスウェーデンに割譲することを余儀なくされた。ノルウェーはスウェーデン国王を戴く同君連合の形をとることになり、完全な独立を達成したのは20世紀初頭の1905年であった。
問10	答え 3 ジズヤ	ムガル帝国の第3代皇帝アクバルは、ヒンドゥー教徒をはじめとする非ムスリムとの融和を図るため、それまで課されていた人頭税（ジズヤ）を1564年に廃止した。これにより、帝国における諸宗教の融和と統治の安定がもたらされた。なお、この税はのちに第6代皇帝アウラングゼーブによって復活されることとなる。